

連辞 *par contre* と *en revanche* について

田代 雅幸

1. はじめに

本稿は、連辞 *par contre* と *en revanche* の比較とその意味構造について検討するものである。このふたつの連辞は共に対立の連辞の中に位置付けられる。対立の連辞とは、*au contraire* や *loin de là* といった対立をマークする連辞の総称である。これら対立の連辞には主にふたつの用法が存在するが、その中で、*par contre* と *en revanche* は、共にテーマ間の対立を問題とする連辞である。*par contre* の例(1)では、前件のテーマ「庭」と後件のテーマ「家」のあり方に対立があり、*en revanche* の例(2)では、前件のテーマ「彼に欠けたもの」と後件のテーマ「彼のできること」について対立がある。

- (1) Si le jardin se trouvait à l'ombre, la maison, *par contre*, était en plein soleil ¹. (Maupassant, *Les Dimanches d'un bourgeois de Paris*, Paris, 1880, cité par *Trésor de la Langue Française informatisé*)
- (2) Ce qui lui manque [à Couture], je crois qu'il ne l'acquerra jamais. *En revanche*, il est bien maître de ce qu'il sait. (Delacroix, *Journal*, 1847, cité par *ibid.*)

テーマ間の対立に対してもうひとつの用法が問題にするのは視点間の対立である。例えば例(3)では *au contraire* の前後に「ジャンの疲労の度合い」について「疲れている」とする視点と「元気である」とする視点が存在し、そこに対立を見出すことができる。*au contraire* は「テーマ間の対立」と「視点間の対立」を問題にしうる連辞だが、例(3)のように「視点間の対立」を問題としている時の *au contraire* は *en revanche* と *par contre* に置き換えることができない²。

- (3) Jean n'est pas fatigué, *au contraire*, il est en pleine forme. (『小学館ロベール大辞典』初版, 小学館: 558)

ここで問題になる「テーマ間の対立」と「視点間の対立」というのは、意味構造レベルの区別である。つまり、*par contre* 及び *en revanche* と *au contraire* には意味構造レベルの違いがある、ということである。一方、*par contre* と *en revanche* は共に「テーマ間の対立」を問題とする連辞であり、意味構造レベルの違いは認められない。したがって *par contre* と *en revanche* の違いは、意

¹ 例文、引用文中の *par contre*、*en revanche* をはじめとした連辞の斜体、及び [] 内の省略、修正は田代によるものである。

² *au contraire* については田代 (2012, 2013, 2014a, 2014b, 2015, 2017) を参照。

味構造レベルではなく、意味論上に求められることとなる³。本稿でまず扱うのはこの意味論上の差異についてである。そして、このレベルにおいても *par contre* と *en revanche* の違いを見出すことは容易でないことを明らかにしたのち、両連辞に共通する対立の意味構造の記述を試みる。

2. 先行研究

Grevisse (1980: §2525) によると、*par contre* は「全く一般的に単純な対立を表す」一方、*en revanche* は「対立の概念に、幸福なかたちで取り戻された均衡という特有の概念を付加する」ものである。ここで *par contre* と *en revanche* の違いとなっているのは *en revanche* における「幸福な再均衡」という概念であろう。他の先行研究ではどのような記述が行われているのか。本稿の主題である *par contre* と *en revanche* の比較は先行研究の見解も含めて次章で扱うが、その前に、まずここでは Hamma et Haillet (2002) や Paillard et Vu Thi Ngan (2012) といった先行研究による *par contre* と *en revanche* 個別の記述を取り上げることとしよう。

2.1. *par contre*

par contre について Hamma et Haillet (2002: 107)は次のように述べている。

[...] l'emploi de « A, *par contre* B » a invariablement pour effet d'opposer, avec plus ou moins de force, « B » à « A », de telle sorte que les conclusions favorisées par « A » se trouvent, à un extrême, équilibrées par celles que privilégie « B », et à l'autre, restreintes du fait de « B ».

すなわち、*par contre* の前件と後件の関係は、前件と後件が釣り合う場合と後件が前件の制限にとどまる場合があるということである。例(4)は前者、例(5)は後者の場合である。

- (4) Le magasin est assez exigü, *par contre* il est bien situé. (*Le Robert Méthodique*, 1989, cité par *ibid.* : 107)
- (5) Un avocat vous sera commis d'office. *Par contre*, vous ne pourrez vous entretenir avec lui qu'à partir de la vingtième heure. (*ibid.* : 108)

例(4)では、お店の物件としての価値に関して、「お店が狭い」ということと「立地が良い」ということが議論として釣り合っているように感じさせる一方、例(5)では「国選弁護士がついてくれる」という前件の議論の価値を、「彼とすぐに話すことができない」という後件の議論は制限するだけで完全に無効化するわけではない。そして、*par contre* におけるこのような前件と後件の関係性を踏まえ、Hamma et Haillet (2002: 108) は次のようにその意味論的価値付けを提案する。

³ 「意味構造」とはテーマや視点の分布・配置の問題であり、対立の連辞が生起する環境であれば、そこにある対立の種類をあるひとつの観点において分類することを可能にするものである。これに対し、「意味論」とは意味構造内の項目に対し、連辞等が与える価値付けである。

[...] l'emploi de « *par contre* B » n'induit pas nécessairement une idée de « compensation » de « A » par « B » ; [...]. Pour caractériser la relation qui s'établit invariablement entre « B » et « A » dans « A, *par contre* B », il est, nous semble-t-il, préférable de parler de « contrepartie » – au sens où ce terme est défini dans *Le Petit Robert* (1996) : « chose qui s'oppose à une autre en la complétant ou en l'équilibrant ».

par contre の同義語として *en revanche* とともに一般的にあげられる連辞に *en compensation* があるが、この連辞を成しているところの *compensation* 「埋め合わせ」を引き合いに出したうえで、これよりも *contrepartie* 「代償、補償」という価値付けが適当であるとしている。つまり、後件が前件の制限にとどまる場合においては、前後の項の関係が部分的な「代償、補償」であっても、「埋め合わせ」にまでは至っていないということである。

このように、Hamma et Haillet (2002) が前後の項の関係性からの記述を行う一方、Paillard et Vu Thi Ngan (2012) はこの連辞を成す語彙である *par* と *contre* の分析からその意味を規定する。Paillard et Vu Thi Ngan (2012 : 108) によると、*par* は *entre autres* 「とりわけ」という意味を、*contre* は *une orientation inverse* 「逆向きの方向性」という意味を表し、そして、*par contre* はこのふたつが組み合わさることで「方向性が逆向きの前件と後件が共存する」ことを表している。この語彙と意味の結びつきは必ずしも自明のものでないようにも思われるが、Paillard et Vu Thi Ngan (2012) は次のように説明する。まず、*par* が *entre autres* という意味を持つ説明として *le voleur est entré par la fenêtre* といった例をあげている。これは、泥棒が侵入するに当たって他の場所から入る可能性もあるなか、窓から入った、というように *par* が他の可能性を示唆する、という意味に解釈できる。そして、*contre* が *une orientation inverse* という意味を持つ説明として *Paul s'appuie contre le mur* といった例をあげている。これは、ポールの体と壁は逆向きの力がかかりながら接している、というように *contre* が「逆向きの方向性」を意味していると解釈できる。そして、「方向性が逆向き」であることと、他の可能性が示唆されることで生じる相対化による「共存」が *par contre* が文脈に与える意味として規定されているというように解釈できる。そして、少なくともこの記述は Hamma et Haillet (2012) のそれと矛盾するものではない。

したがって、先行研究による *par contre* の記述をまとめると、*par contre* は、後件を、前件を相殺するか、制限するものとして導入し、前件と後件は方向性を異にしつつも共存する、ということになる。次は *en revanche* についての先行研究の記述である。

2.2. *en revanche*

en revanche の個別の記述として、ここでは Paillard et Vu Thi Ngan (2012) を取り上げる。Paillard et Vu Thi Ngan (2012 : 53) は、次のように述べている。

En revanche signifie [...] un point de vue qui compense un premier point de vue [...]. Il y a donc un rééquilibrage des points de vue [...].

ここで述べられている *point de vue* 「視点」とは、はじめに述べた「視点間の対立」の視点とは異なり、前件、後件と同じものを指していると考えてよい。したがって、*en revanche* は後件を前件の埋め合わせをするものとして導入し、その結果として前件から後件にかけて再均衡が生じるということである。例(6)では、多くの兵士を失ったことが、戦争に勝ったことによって埋め合わせされることで、再び均衡が与えられている。

- (6) La France a perdu trois millions de soldats de 1914 à 1918. *En revanche* elle a gagné la guerre.
(*idem*)

この記述もまた、*par contre* 同様、*en revanche* を構成する *en* と *revanche* の意味論的分析から与えられている。Paillard et Vu Thi Ngan (2012 : 53) 曰く、*en* は *une incarnation de la propriété* 「性質の体現・具現」を意味し、*revanche* は *une action en retour, comme réaction à une première action* 「反動、反発」を意味する。*en* が *une incarnation de la propriété* という意味を持つことの説明としては、*Paul est en prison* という例があげられ、この文が、ポールが囚人以外の何者でもないという意味で *Paul est un prisonnier* を表しているとされている。そして、*en revanche* が持つとされる *l'idée de rééquilibrage et de compensation* 「再均衡、埋め合わせ」は *revanche* の意味から与えられると説明されている。この意味の組み合わせによって後件は前件を埋め合わせ、再均衡をもたらすものとして提示される、という説明である。

ここまで、簡単に先行研究による *par contre* と *en revanche* それぞれの個別の記述を見てきたが、先行研究では両連辞の違いについての記述もなされている。ここからは、*par contre* と *en revanche* の違いについて、先行研究の記述も踏まえて考察していく。

3. 両連辞に違いを見出すことができるか

まず先行研究の記述から見ていきたい。いずれの先行研究も各連辞の違いについて、前件と後件の「価値」に注目している。

3.1. 先行研究の見解

Paillard et Vu Thi Ngan (2012 : 65) は、次のように述べている。

À la différence de ce que l'on a avec *en revanche*, *par contre* n'introduit pas de valuation (positif / négatif, bon / mauvais, etc) [...].

つまり、*par contre* と異なり、*en revanche* では価値判断が関わるということである。そして、*en revanche* の後件が「ポジティブ」、前件が「ネガティブ」なものになるはずであるとも述べられている (p.53)。同様に、Hamma et Haillet (2002 : 110) も、理論上では *en revanche* において後件が *un avantage pour le locuteur* 「話者に有利な事柄・話者への利益」となることを認めている。例(7)では、

par contre を en revanche に置き換えることができないが、それは後件が話者に有利な内容でないからだというわけである。

- (7) Mon frère et mon mari sont revenus saufs de la guerre ; *par contre*, j'y ai perdu mes deux fils.
(*idem*)

ただし、Paillard et Vu Thi Ngan (2012 : 53) と Hamma et Haillet (2002 : 110) は共に実際の en revanche の生起例において常に後件がポジティブなものになるとは限らないとも述べている。例(8)がその一例である。

- (8) Aujourd'hui, l'Afghanistan ne cultive plus le pavot ; la pression internationale s'est révélée efficace. *En revanche*, elle n'a pu empêcher la destruction des statues de Bouddha par les talibans.
(*idem*)

このように、必ずしもポジティブ／ネガティブという基準が par contre と en revanche の違いとなるわけではないとも言われているのである。だが、すべての例で en revanche の後件がポジティブとはならないにしても、ある程度の傾向としてはポジティブ／ネガティブという価値判断が par contre と en revanche の違いとして現れる可能性はまだ残されているのではないか。このような予測から、例文を収集し、観察を行った。

3.2. 収集した例文による分析

インターネット記事における par contre と en revanche の生起例を各 50 例ずつ収集し、記事の書き手にとって前件と後件がポジティブかネガティブか、という観点から観察した^{4 5}。その結果が表 1 である。

表 1 : 前後の項がネガティブかポジティブか

	en revanche	par contre
ネガティブ／ポジティブ	13	15
ポジティブ／ネガティブ	14	21
中立・不明・その他	23	14

先行研究の言う理屈に従えば、en revanche の後件がポジティブな例がそうでない例と比べて多くなってもおかしくなさそうである。しかし実際のところ、en revanche の後件がポジティブな例(13

⁴ 記事の日付は今年の 6 月中旬から 8 月中旬のものである。記事 URL は本稿最後にまとめて記載する。

⁵ なお、カウントするにあたってはポジティブさ、あるいはネガティブさをかなり積極的に拾って行った。それは、ほとんどの例において、ポジティブさ、ネガティブさが記事自体から明確に提示されているようには感じられなかったということでもある。

例) とネガティブな例の数 (14 例) には、ほぼ差はない。また、Paillard et Vu Thi Ngan (2012) が *en revanche* には価値判断が関わると述べていたことは前節で述べたが、むしろ *par contre* よりも *en revanche* の方が、ネガティブ／ポジティブの変化が見られない例が多く見受けられた (*en revanche* が 23 例に対して *par contre* は 14 例)。結論としては、前件と後件がポジティブかネガティブか、という基準では *en revanche* と *par contre* に有意な差異が見出せないということになる。参考のために 3 パターンに対応する *en revanche* と *par contre* それぞれの例文(9-14)を掲載する (ネガティブ／ポジティブ：例(9, 10)；ポジティブ／ネガティブ：例(11, 12)；中立：例(13, 14))。

- (9) Dix-huit départements sont toujours placés en vigilance orange "orages" par Météo France, ce mardi 1^{er} août. Sont concernés : l'Ain, l'Allier, [etc]. [...] *En revanche*, fin de suivi pour l'Aube, la Marne, [etc]. (記事 URL : *en revanche* 20⁶)
- (10) Ferrari en Formule E, ce n'est pas pour demain. La Scuderia c'est la F1. *Par contre*, le groupe FCA (Fiat Chrysler) pourrait bien lancer Alfa Romeo ou Maserati dans le bain des monoplaces électriques. (記事 URL : *par contre* 36)
- (11) Le pont se trouve sur la voie [...] menant de Grächen à Zermatt (VS). Il est accessible en deux heures, voire deux heures et demie depuis Randa.
Il faut *en revanche* compter entre six et sept heures depuis Grächen ou Zermatt. (記事 URL : *en revanche* 14)
- (12) Il n'y a pas eu de blessé, *par contre* sur le plan matériel, comme en témoigne cette photo, le bilan est assez lourd car un box de garage ainsi qu'une remise ont été détruits par le feu. (記事 URL : *par contre* 18)
- (13) La plupart des victimes travaillaient dans des rizières quand elles ont été frappées par la foudre, ont précisé des responsables de l'Autorité en charge de la gestion des catastrophes.
Dans l'Etat de Jharkhand, deux frères ont *en revanche* été tués dans le district de Kharswan quand la foudre a pénétré par le toit de chaume de leur maison. (記事 URL : *en revanche* 22)
- (14) L'homme, au volant, a filmé la scène à laquelle il a assisté : une étrange forme en mouvement, dans le ciel, semble flotter. Il n'est pas le seul. Sur les réseaux sociaux, d'autres personnes ont publiés des images étranges montrant le même phénomène. Ces vidéos relancent l'éternel débat, celui des OVNIS. Pour d'autres *par contre*, il s'agit d'un groupe d'oiseaux ou d'un simple amas de poussière porté par le vent. (記事 URL : *par contre* 2)

今回、ポジティブ／ネガティブという基準では *en revanche* と *par contre* の違いが見出せなかった理由の一つとして、集めた例文が (インターネット上に掲載された) 新聞記事であることが考えられる。Hamma et Haillet (2002) も後件がポジティブでない例として例(8)をあげていたが、こ

⁶ 例(9-16)に関して、それぞれの記事 URL は本稿最後の URL リストの中の対応する番号を提示する。

れも内容としては新聞記事と同質のもののように思われる。当然、新聞記事においてもポジティブな内容、ネガティブな内容というのは存在する。しかし、新聞記事におけるポジティブな内容、あるいはネガティブな内容から生じる書き手への利益、あるいは不利益は、Hamma et Haillet (2002) が述べていたような「話者への利益」という意味では、大概において間接的なものである。つまり、新聞記事よりも話者に直接的な利益／不利益が生じるような、例えば日常会話といった状況では、先行研究が述べるような違いが *en revanche* と *par contre* の間に見出せる可能性は残されているのである。そのような場面において、ポジティブかネガティブか、という基準が *en revanche* の生起に関わるとすれば、それは「リベンジ・復讐」といった語彙的な意味との関連が大きいように思われる。*en revanche* が話者に直接不利益が生じるような後件を導入できないとすれば、それは、人が自分の不利益になる方向にはリベンジ、復讐をしないからである。そういう意味でも、やはり *en revanche* の生起に関与しうる状況として可能性が残されているのは、より直接的な利益・不利益となろう。ただし、次節で述べることにも関連するが、話者が直接、利益／不利益に関与する日常会話といった状況で、そもそも *en revanche* が一般に使用語彙として用いられているのかどうか疑わしいところもある。

今回収集した例文を用いて、ポジティブ／ネガティブという基準以外にも幾つかの基準を設定しての観察も行ったが、いずれの基準においても *par contre* と *en revanche* の用いられ方に有意な違いは見出せなかった。本稿ではそのいくつかの基準のうち、比較的単純なものをふたつ紹介するにとどめる。

まずは、生起位置の分布である。各例文において、それぞれの連辞が後件に対して前に位置しているのか、中に位置しているのかをカウントした結果が表 2 である。*en revanche* においても *par contre* においても共に半々の割合で分布しており、有意な差異は見出せない。

表 2：生起位置の分布

	<i>en revanche</i>	<i>par contre</i>
後件の前に生起	27	26
後件の中に生起	23	24

そして、共起表現である。*par contre* と *en revanche* に共起する表現として、(対立の) *si* が挙げられる。例(15, 16)のような *si* との共起例をカウントした結果、50 例中 *en revanche* が 3 例、*par contre* が 2 例となり、やはり頻度に差は見られなかった。

- (15) Si une collectivité peut présenter seule un programme de travaux pour approbation, les particuliers, *en revanche*, doivent se grouper en Association syndicale autorisée (ASA). (記事 URL : *en revanche* 38)
- (16) Si coloniser la Lune est un objectif sous 10 ans pour la Chine, envoyer une mission martienne est *par contre* un objectif plus proche [...]. (記事 URL : *par contre* 25)

また、収集した例文の観察という手段以外には、次のような仮説を立て、作例による検証も行った。それは、「因果関係が関わると *par contre* より *en revanche* が優先される」という仮説である。この仮説は、Grevisse (1980 : §2525) に載っている André Gide の作例(17)からヒントを得たもので、この例は *en revanche* の使用が不自然な例として作られたものである⁷。ここでは、戦争から兄弟と夫が無事帰ってきたことと、二人の息子を失ったことが述べられている。

- (17) Oui, mon frère et mon mari sont revenus saufs de la guerre ; *en revanche* j'y ai perdu mes deux fils. (A. Gide, cité par *idem*)

あるインターネットフォーラム (<https://www.projet-voltaire.fr/origines/par-contre-en-revanche/>) では、この例が不自然である理由が次のように説明されている。

[...] la phrase ainsi tournée, on croit que c'est parce que le frère et le mari sont revenus sains et saufs que les deux fils ont péri. [...] Or, dans les faits, il n'y a pas de lien de causalité.

すなわち、*en revanche* を用いることで、夫と兄弟が無事帰ってきたことと息子たちが亡くなったことに因果関係を感じさせてしまい、そこに現実とのギャップが生じるということである。このように *en revanche* が因果関係をマークするとすれば、Grevisse (1980 : §2525) が「全く一般的に単純な対立を表す」と述べていたような *par contre* の意味とはかなり離れた意味解釈であるように思われる。このことから、Gide の *par contre* を *en revanche* に置き換えられない例とは方向性が逆の、先ほどの仮説を立てることができる。前件の内容と後件の内容が、否応なく因果関係を感じさせてしまう時には、単純に対立をマークする *par contre* はかえって違和感を生じさせ、*en revanche* が優先されるのではないか、という仮説である。

この検証のために作った例文が (18ab) と (19ab) である。(18ab) では、気温の暑さと、ビールの美味しさに因果関係が存在し、(19ab) では、駅からの遠さと家賃の安さに因果関係が存在する。あるネイティブスピーカーに聞いたところ、(18ab) では、*par contre* は不可能ではないが、*en revanche* の方が良く、さらに、(19ab) では *par contre* は不自然とのことであった。だが、同じ質問をした別のネイティブスピーカーからは、(18ab) と (19ab) にそのような許容度の差異は全くないという返事もあり、仮説を証明したと言える段階には全く至っていない。

(18a) C'est vrai qu'il fait trop chaud, *en revanche* je pourrai boire de la bonne bière.

(18b) (?)C'est vrai qu'il fait trop chaud, *par contre* je pourrai boire de la bonne bière.

(19a) Ce magasin est loin de la gare, *en revanche* le loyer n'est pas cher.

(19b) ?Ce magasin est loin de la gare, *par contre* le loyer n'est pas cher.

⁷ なお、例(7)は、この例の *en revanche* を Hamma et Haillet (2002) が *par contre* に置き換えたものである。

そもそも、語の構成が全く異なる *en revanche* と *par contre* がなぜこのようによく似た用いられ方をし、意味論上の違いを見出すのが難しいのだろうか。その原因のひとつとして考えられるのが、Hamma et Haillet (2002) の言うところの「社会言語学的」な影響である。

3.3. 社会言語学的な影響

3.1.節で述べたように、*en revanche* と *par contre* の用法に決定的な違いが見いだせなかった Hamma et Haillet (2002 : 111) は、用法の近接性 (*similitude de fonctionnement discursif*) の説明として「社会言語学的仮説 (*hypothèse d'ordre sociolinguistique*)」を提示している。その仮説とは、*en revanche* を、*par contre* の「丁寧な形 (*variante soutenue*)」であると見なす話者が少なからず存在している、とするもので、その原因は社会的に *par contre* が正しくない表現であるとされてきたことにあるとしている。そして、*par contre* の代わりとして使われてきた表現が *en revanche* であり、その結果、本来 *en revanche* が不自然なはずのところでも *en revanche* が使用されることがあるとしている。以下は Littré の辞書の *par contre* に関する記載だが、ここからは *par contre* という表現が様々な理由 (Voltaire からの批判、文法的・意味的な問題、出自の問題) で批判されてきたことが読み取れる。

« *Par contre* est une locution dont plusieurs se servent, pour dire *en compensation*, *en revanche* : [...]. Cette locution, qui a été tout particulièrement critiquée par Voltaire et qui paraît provenir du langage commercial, peut se justifier grammaticalement, puisque la langue française admet, en certains cas, de doubles prépositions, *de contre*, *d'après*, etc. mais elle ne se justifie guère logiquement, *par contre* signifiant bien plutôt *contrairement* que *en compensation*, et devant provenir de quelque ellipse commerciale (*par contre* ayant été dit pour *par contre-envoi*) ; en tout cas, il convient de suivre l'avis de Voltaire et de ne transporter cette locution hors du langage commercial dans aucun style. » (É. Littré, *Dictionnaire de la langue française*, 1863-1872 pour la première édition, 1873-1877 pour la seconde)

また、以下は Académie Française の辞書の抜粋であるが、つい最近まで *par contre* の使用を避けることが推奨されてきたことがわかる。

« La locution « *par contre* » ne peut donc être considérée comme fautive, mais l'usage s'est établi de la déconseiller chaque fois que l'emploi d'un autre adverbe est possible. » (Académie française, 1988 (maintenu en 2001))

そして、次のこともその傍証と言えるかもしれない。今回観察のために使用した 50 例づつの例文は、(記事一本に複数回使用されることがあるため) *par contre* が 37 本の記事から、*en revanche* が 39 本の記事から収集されている。この記事の URL 等から国別に数を数えた結果が表 3 である。

表3：国別の記事本数

	par contre	en revanche
フランス	15	35
ベルギー	10	1
ケベック (カナダ)	8	-
スイス	1	1
モロッコ	1	-
モーリタニア	1	-
ルクセンブルク	-	1
不明	1	1
計	37	39
仏/他	15 / 21 (不明 1)	35 / 3 (不明 1)

par contre ではフランスとフランス以外の国の記事の数が 15 対 21 であるのに対し、en revanche では 35 対 3 とバランスが大きく逆転している。そして、このことから、par contre と en revanche の使用頻度の差がフランスとフランス以外の国で (少なくとも、その総体とは、) 大きく異なっているということが結論付けられる⁸。Hamma et Haillet (2002) がいうような「社会言語学的」な影響がフランスに限られたものかどうかは不明である。だが、仮に、par contre と en revanche の比較において、他の国と比べてフランスで異常に en revanche の使用頻度が高いとすれば、その理由は「社会言語学的な」影響に求められる可能性はあるだろう⁹。少なくとも、par contre と en revanche の選択には意味論的な違いだけではなく、それ以外の要素が関わっている可能性は排除できないのである。

ここまで、en revanche と par contre の意味論的な違いについて考察を行ってきた。結論としては、現在の時点で明確な形で意味論的な記述を行うことは難しいと言わざるを得ない。したがって、ここからは par contre と en revanche の用いられ方に違いがないと仮定し、このふたつの連辞に共通する対立の意味構造の記述を行うことにする。本稿の始めに、par contre と en revanche はテーマの対立を問題にする連辞であると述べたが、この意味構造について詳しく見ていきたい。

4. 対立の意味構造

本稿も含めた論者の一連の対立の連辞研究における中心軸は、一般に対立の連辞が生起する環境の意味的構造は「視点、テーマ、レーマ」で記述できる、という主張である。対立の連辞が生

⁸ もちろん、この表は、副次的に出てきたものであり、必ずしも数字として信頼に足るものではない。(当然、フランス以外の国々で話されているフランス語が均質であるということでもない。)しかし、このようにはっきりとした違いが出たということは、国によって par contre と en revanche の選択傾向にある程度の違いがあるということまでは言えるのではないかと。

⁹ 収集した記事 76 本の中で、同一記事内に par contre と en revanche が共に使われている記事は 2 本のみである一方、同じ連辞が複数回用いられている記事は par contre で 7 本、en revanche で 10 本であった。これは、par contre あるいは en revanche が複数回用いられる場面において、同語反復の回避が図られることなく、もっぱら片方のみ用いられる傾向にあることを示している。このような用いられ方の原因には、規範的な影響からくる文体的な価値付けの違いがあると考えられる。

起する環境である以上、レーマは差異を述べるものである。そして、差異を述べるふたつのレーマが成立する環境が大きく2種類ある。テーマがふたつある場合（テーマ間の対立）と視点がふたつある場合（視点間の対立）である。テーマ間の対立の場合、比較を可能とするような共通性を持ったテーマがふたつ存在し、そのテーマに対してそれぞれレーマが与えられる。視点間の対立の場合、対立する視点が存在することでふたつのレーマが与えられることになる¹⁰。

テーマは「差異の在りか」、レーマは「そこで述べられている差異」と定義付けられる。したがって、例(20)におけるテーマは「ピエール（の性格）」、レーマは「優しい」、「嫌な奴である」となる。ここでは、ピエールの性格を「優しい」とする視点と「いやなやつだ」とする視点があることで対立が生じている。つまり、ここにあるのはピエールの性格をめぐる、いわゆるポリフォニー的な視点の対立である。

(20) Pierre n'est pas gentil, *au contraire*, il est détestable. (Ducrot, 1984 : 216)

一方、*par contre* と *en revanche* はもっぱらテーマの対立を問題とする連辞である¹¹。ここでは、*en revanche* と *par contre* が意味論的に変わらないという仮定のもと、*par contre* について主に扱っていくことにする。例(21)では、マリーと妹というふたつのテーマそれぞれに「秀才である」というレーマと「天才である」というレーマが与えられている。マリーを「秀才である」とする視点と、その妹を「天才である」とする視点は同一のものである。

(21) Marie est intelligente. Sa sœur *par contre* est géniale (Rossari, 2000 : 137)

このような2テーマ・2レーマの状態を二重変値 (double variation) と呼ぶこととする。これは、Rossari (2000) の概念を意味構造レベルに読み替えたものである¹²。そして、ここまで説明してきたことから次のことが導き出せる。ひとつは、*au contraire* が生起するために環境が二重変値を満たしている必要はないということ。そして、*par contre* (*en revanche*) は二重変値が満たされた環境にしか生起しないということである。例(22ab)は Danjou-Flaux (1987) で提示された例である。(22a) と (22b) の違いは、天気のあるり方によって (22a) では行き先が「映画」から「散歩」になる一方、(22b) では行き先が変わらず「映画」である。(22a) では、いずれの連辞も生起可能だが、(39b) では、*au contraire* しか生起することができない。これを提示した Danjou-Flaux (1987) は、(22a) から (22b) への連辞の生起可不可の変化の理由を説明していないが、二重変値を用いることで、これを説明することが可能となる。

¹⁰ 対立の連辞に関わる意味構造について詳しくは田代 (2017) を参照。

¹¹ *en revanche* がテーマの対立を問題とする連辞であることについては田代 (2017) も参照されたい。

¹² 二重変値について詳しくは田代 (2017) を参照。

(22a) S'il fait mauvais, j'irai au cinéma ; mais si (AC+PC+ER) il fait beau, j'irai me promener.
(Danjou-Flaux, 1983 : 290)

(22b) S'il fait mauvais, j'irai au cinéma ; mais si (AC+*PC+*ER) il fait beau, j'irai au cinéma aussi.
(*idem*)

まず、二重変値を求めない *au contraire* が生起すると、例文の *si* 節の中で問題となっている天気の良いし悪しをレーマに取ることになると考えられる。天気の良いし悪しが問題になる点は、(22a) と (22b) に共通しているため、(22a) も (22b) も *au contraire* は生起可能となる¹³。一方、*par contre* (*en revanche*) は二重変値が満たされないと生起することができない。(22a) では、テーマに「天気の悪い場合」と「天気の良い場合」をとり、レーマに「映画」と「散歩」をとって二重変値が成立するため *par contre* (*en revanche*) は生起できる。しかし、(22b) では前後のレーマが「天気の良いし悪し」にしか設定できず、テーマにあたるもうひとつの変値が見出せないため、*par contre* (*en revanche*) は生起できないのである¹⁴。

このように、*par contre* (*en revanche*) の生起に関わる環境の意味構造は二重変値の成立、非成立で説明してきたが、この説明にはこの概念の元となった Rossari (2000) と若干食い違う点がある。Rossari (2000 : 137-139) は、*par contre* の生起にあたって二重変値が満たされる必要はないと述べているのである。まず、Rossari (2000) によると、二重変値が満たされない、つまり、環境にテーマがふたつ存在せずとも *par contre* の生起は可能である。ただしこれは条件付きで、そのような場合においてはレーマに対立が必要であり、逆に、テーマがふたつ確保されて二重変値が満たされる場合、レーマに対立は不要とされている¹⁵。ここからは、Rossari (2000) の提示する二重変値の満たされない例に関して、その条件も含めて、二重変値による説明を維持したままでの再解釈は可能なのかを検討していきたい。

Rossari (2000) が二重変値の満たされない *par contre* の生起例としてあげているのは例(23)である。Rossari (2000) によれば、この例は「リュック」というテーマに対して「かっこいい」と「頭が良くはない」というレーマが与えられる、という1テーマ2レーマの構造に分析される。したがって、この例では二重変値が満たされていないことになる。

¹³ ここで生じる対立の種類は実は「テーマ間の対立」でも「視点間の対立」でもない第三の意味構造である。これは田代 (2017) で1枠同視点型として扱ったもので、詳しくは同論文を参照されたい。ちなみに、*au contraire* は「テーマ間の対立」の意味構造においても生起できるため、(22a)に関しては、「天気の悪い場合」と「天気の良い場合」をテーマにとって、映画に行くか、散歩に行くかをレーマに取ることも可能である。どちらの解釈を取ろうとも、*au contraire* の生起が可能という点に変化はない。

¹⁴ なぜ、このように *par contre* (*en revanche*) の生起には二重変値の有無に関わり、逆に *au contraire* には関わらないのだろうか。ここには、各連辞が意味構造の中でフォーカスする位置の違いがあると考えられる。*en revanche* 同様 *par contre* も二重変値を求めるとすれば、*par contre* がフォーカスする位置も *en revanche* 同様にテーマの関係性となるだろう。その他詳細は田代 (2017) で論じたので、そちらを参照されたい。

¹⁵ Rossari (2000) の用いている用語では、レーマではなく属性 (*propriété*) だが、そもそも二重変値における「レーマ」は Rossari (2000) の「属性」を意味構造レベルに読み替えたものであるため、ここでは同じものとして考える。また、レーマの対立の有無に関して、Rossari (2000) は *propriétés intrinsèquement opposables* と述べており、語彙に内在するような対立やそれに類する比較的直感的な対立が認められるか否かが問題となっているように思われるが、基準としてはやや不明瞭なところがある。

(23) Luc est très beau, *par contre* il n'est pas très intelligent. (*ibid.* : 137)

しかし、この例においても二重変値が満たされているという分析は可能である。その分析を可能にするために、レーマの両立可能性という考え方を提案したい。例(23)のレーマ「かっこいい」とはリュックの美醜に関する値である。一方、「頭が良くはない」とはリュックの頭の良さに関する値である。つまり、このふたつのレーマは「美醜」と「頭の良さ」という別々の項目に与えられているということになる。そして、それがゆえに、前後のレーマはテーマ「リュック」に対して両立可能だと考えられるのである。この両立可能性はテーマの分割によって生じる。Rossari (2000) は、「リュック」をひとつのテーマとしてカウントしていた。だが、今述べた通り、この例ではレーマが別々の項目に与えられているため、テーマの両立可能性によりふたつに分割されることが可能である。これはつまり、「美醜から見たリュック」と「頭の良さから見たリュック」というふたつのテーマに分割されるということである。このように理解されることで例(23)においても2テーマ2レーマの二重変値が確保され、*par contre* 生起の説明がつくのである。

では、Rossari (2000) は、二重変値が満たされない例(23)のような場合の条件として、レーマが対立している必要があると述べていたが、これを二重変値とレーマの両立可能性を維持したまま再解釈できるだろうか。Rossari (2000) によると、例(23)の2つのレーマ「かっこいい」と「頭が良くはない」には対立があるということになる。これに対して二重変値が満たされずテーマに対立がないために *par contre* が生起不可になるとされる例が例(24-26)である。

(24) ??Luc est intelligent, *par contre* il est en plus beau. (*ibid.* : 139)

例(24)では、「リュック」に対して、「頭が良い」と「かっこいい」というレーマが与えられている。Rossari (2000) によると、例(24)において *par contre* が生起できないのは、この2つのレーマに対立がないためである。これを二重変値とレーマの両立可能性を保ったまま再解釈できるだろうか。まず「頭が良い」と「かっこいい」という2つのレーマは「頭の良さ」と「美醜」という別々の項目について与えられた値であるため、レーマの両立可能性によって「頭の良さから見たリュック」と「美醜から見たリュック」というようにテーマは分割される。したがってここでは二重変値は確保されてしまうことになり、*par contre* が生起しないことと一見矛盾が生じてしまう。しかし、そもそも例(24)はリュックの評価を問題としている文である。ここで与えられた「頭が良い」というレーマと「かっこいい」というレーマは「リュック」に対する評価に価値的な変化をもたらさない。したがって、ここでは *par contre* という対立の連辞を使うこと自体が矛盾しているのである。

(25) Marie est intelligente. ?? *Par contre* elle est aussi géniale. (*idem*)

例(25)ではテーマ「マリー」に対して「秀才である」というレーマと、「天才である」というレー

マが与えられている。これは共にマリーの頭の良さに関する値であり、レーマの両立可能性が成立しないためテーマを分割することはできない。二重変値が満たされず、意味構造レベルで *par contre* は生起できない。

(26) Luc veut arrêter de boire. ?? *Par contre* il veut aussi arrêter de fumer. (*idem*)

例(26)では、前後共にリュックのやめたいことが述べられ、レーマの両立可能性が成立しないためテーマを分割することができない¹⁶。したがって二重変値が満たされることはなく、これも意味構造レベルで *par contre* は生起できないということになる。

最後に、Rossari (2000) が、二重変値が満たされている場合において、内在的に内容が対立している必要はないとしている点である。これには例(27, 28)が当てはまる。

(27) Marie est intelligente. Sa sœur *par contre* est géniale. (*ibid.* : 138)

(28) Luc veut arrêter de boire. Sa femme *par contre* veut arrêter de fumer. (*idem*)

例(27)と例(28)では共に「マリー」と「その姉妹」、「リュック」と「その妻」というふたつのテーマを与えられており、テーマを分割する必要なく安定して二重変値が満たされた環境になっている。この場合、それぞれのレーマがテーマ間の違いとして提示されることになるので、レーマ間に内在的な対立が必要ないことが考えられる。

ここまで、Rossari (2000) が二重変値なしに *par contre* を生起可能とする場合に関して、論理的整合性を保ちながら、あくまで二重変値が成立するものとして解釈することが可能であることを述べてきた。問題となったのは、二重変値を成立させるためにレーマの両立可能性を用いる必要がある場合であるが、そもそもそのような例は *par contre* の生起としてはかなり周辺的なものであることを付け足しておきたい。前述の *par contre* に関して収集した 50 例（及び *en revanche* の 50 例）の中に、二重変値の成立にレーマの両立可能性が必要とされるものは見当たらなかったのである。

5. おわりに

本稿では、対立の連辞 *par contre* と *en revanche* に関して、両連辞の意味論的な違いと、両者に共通する意味構造について考察を行ってきた。まず、*par contre*、*en revanche* は共にテーマ間の対立を問題とする連辞であるということを始めに述べた。これは意味構造レベルの共通点であるが、

¹⁶ 一見、「レーマの両立可能性」というとリュックが飲酒をやめたいことと喫煙をやめたいこととは両立可能であるように思われるかもしれない。しかし、重要なのはこのふたつのレーマが対立の連辞によって差異を有するレーマとして提示されている点である。（同一の視点から与えられた）差異を有するレーマは分割されない同一のテーマに対して「成立」しないのである。なお、この例に関して、「リュックの飲酒」と「リュックの喫煙」というように分割されたテーマを想定することもできるが、今度はレーマが前後共に「やめたい」となってしまう、「対立が問題となっている」という大前提に矛盾してしまう。

意味論レベルにおいても両連辞の違いを見出すことは容易でなく、社会言語学的な影響も含めた様々な理由から *par contre* と *en revanche* の用いられ方に違いを見出すことは難しいと言わざるをえない。ただし、これに関しては、新聞記事とは異なり、話者との関わりが大きい日常会話等のコンテキストではポジティブ／ネガティブに関する *en revanche* の制約が見出せる可能性は残されているだろう。そして、*par contre* と *en revanche* が意味論的に同等の価値を持つと仮定すれば、その生起環境はいずれも2テーマ2レーマの二重変値によって記述されるということになる。

参考文献

- Danjou-Flaux, N. (1980) : « AU CONTRAIRE, PAR CONTRE, EN REVANCHE. Une évaluation de la synonymie. », *Bulletin du Centre d'Analyse du discours*, 4, pp.123-148.
- (1983) : « *Au contraire*, connecteur adversatif », *Cahiers de linguistique française*, 5, 275-303.
- Ducrot, O. (1984) : *Le Dire et le dit*, Les Éditions de Minuit.
- Flaux, N. (2003) : « AU CONTRAIRE (de) et le sens de CONTRE », *Recherches Linguistiques*, 26, pp.289-309.
- Grevisse, M. (1980) : *Le Bon Usage*, 11^e éd., Duculot.
- Hamma, B. et Haillet, P. P. (2002) : « Par contre : un type particulier de dynamique discursive », *Revue des linguistes de l'Université Paris X Nanterre*, 46, pp.103-113.
- Masseron, C. et Wiederspiel, B. (2001) : « Contrastivité adverbiale : AU CONTRAIRE, CONTRAIREMENT À, PAR CONTRE », *Recherches Linguistiques*, 26, pp.311-341.
- Paillard, D. et Vu Thi Ngan (2012) : *Inventaire raisonné des marqueurs discursifs du français*, Éditions de l'Université nationale de Hanoï.
- Rossari, C. (2000) : *Connecteurs et relations de discours : des liens entre cognition et signification*, Presses Universitaires de Nancy.
- 田代雅幸 (2012) : 「フランス語の *au contraire* に関する一考察」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』 27, pp.11-28.
- (2013) : 「フランス語 *au contraire* のモノログにおける用法について」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』 28, pp.107-130.
- (2014 a) : 「フランス語の副詞句 *au contraire* の論証的な用法について」『日本フランス語フランス文学会 関東支部論集』 23, pp.1-13.
- (2014 b) : 「*au contraire* をめぐる論証の動きについて」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』 29, pp.97-106.
- (2015) : 「フランス語 *au contraire* の対話的構造について」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』 30, pp.22-43.
- (2016 a) : 「*à l'inverse* と *à l'opposé* について」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』 31, pp.94-104.
- (2016 b) : 「「それどころか」と *loin de là* の比較研究」『フランス語学の最前線』 5, pp.231-268.
- (2017) : 「対立を表す3つの連結辞」『フランス語フランス文学研究』 110, pp.57-71.
- 渡邊淳也 (2015) : 「論証的ポリフォニー理論をめぐって」『フランス語学の最前線』 3, pp.275-304.

記事 URL

par contre

- 1) <http://www.ladepeche.fr/article/2017/07/24/2617017-la-2e-division-anglaise-et-son-pouvoir-d-attraction.html>
- 2) <http://www.rtl.be/people/buzz/un-forme-bizarre-observee-par-des-automobilistes-la-chose-la-plus-bizarre-que-j-ai-jamais-vue-video--938547.aspx>
- 3) <http://www.lavoixdunord.fr/195728/article/2017-07-24/un-mois-de-prison-avec-sursis-apres-un-pugilat-la-fin-d-un-match-de-foot-feminin>
- 4) http://www.lavenir.net/cnt/dmf20170727_01034671/des-coursiers-de-deliveroo-protestent-contre-leurs-conditions-de-travail
- 5) <http://www.lerefletdulac.com/actualites/2017/7/27/-un-cycliste-ne-gagnera-jamais-contre-un-camion---un-adepte-du-v.html>
- 6) <http://journalmetro.com/actualites/national/1175917/un-avion-aurora-retire-du-combat-contre-daech/>
- 7) <http://sport24.lefigaro.fr/football/ligue-2/actualites/comment-suivre-la-l2-et-5-autres-questions-sur-la-nouvelle-saison-869946>
- 8) <http://www.20minutes.fr/sport/2110591-20170728-video-euro-feminin-bon-passe-o-joga-bonito-equipe-france>
- 9) <http://www.ledauphine.com/france-monde/2017/07/28/au-large-de-la-namibie-20-000-diamants-sous-les-mers>
- 10) <http://www.lefigaro.fr/politique/le-scan/2017/07/26/25001-20170726ARTFIG00084-contre-l-avis-du-gouvernement-les-deputes-se-premunissent-de-l-emprise-des-lobbies.php>
- 11) <http://www.dhnet.be/sports/football/division-1a/un-grand-bolat-contraint-anderlecht-au-nul-hanni-frustre-par-un-antwerp-qui-dejoue-0-0-597b6b6acd70d65d250b05c0>
- 12) <http://www.journaldequebec.com/2017/07/28/etude-boire-de-lalcool-plusieurs-fois-par-semaine-aiderait-a-contrer-le-diabete>
- 13) <http://www.telarama.fr/cinema/fight-club-le-film-recommande-ce-week-end-par-telarama-vodkaster,161206.php>
- 14) <http://www.lefigaro.fr/flash-eco/2017/07/28/97002-20170728FILWWW00213-eolien-la-justice-valide-le-parc-au-large-de-saint-nazaire.php>
- 15) <https://www.medias24.com/MAROC/SOCIETE/175442-Dolmy-le-vrai-Maalem-raconte-par-ceux-qu-ils-l-ont-connu.html>
- 16) <http://www.rtl.be/sport/tous-les-sports/auto-moto/rallye-de-finlande-lappi-en-tete-a-l-issue-de-la-premiere-journee-940006.aspx>
- 17) <http://www.zonebourse.com/NESTLE-9365334/actualite/Nestle-manque-les-attentes-au-1er-semester-severement-reprime-par-les-analystes-24833773/>
- 18) <http://www.laprovince.be/1896768/article/2017-07-29/dour-une-remise-et-un-box-de-garage-detruits-par-le-feu>
- 19) <http://www.rds.ca/baseball/mlb/mlb-cooperstown-est-assailie-par-des-partisans-aux-couleurs-des-expos-1.4592524>
- 20) <http://www.ladepeche.fr/article/2017/07/30/2620344-ce-que-la-loi-va-changer.html>
- 21) <http://www.ladepeche.fr/article/2017/07/30/2620339-610-km-de-bouchons-cumules-hier.html>

- 22) <http://www.lesoir.be/106955/article/2017-07-29/chasse-croise-sur-les-routes-un-samedi-noir-plus-calme-que-prevu>
- 23) <http://www.coupdœil.info/actualites/2017/8/6/150---en-cinq-ans--le-prix-des-terres-agricoles-poursuit-sa-flam.html>
- 24) <http://www.tvnouvelles.ca/2017/08/06/pas-assez-de-toilettes-pour-les-personnes-a-mobilite-reduite>
- 25) <http://information.tv5monde.com/info/conquete-spatiale-la-chine-nouvel-acteur-incontournable-184844>
- 26) <http://www.tvsports.ca/2017/08/05/denis-shapovalov-en-confiance-a-la-coupe-rogers>
- 27) <https://www.lexpress.mu/article/313452/metro-express-pour-eux-metro-nest-pas-trop>
- 28) https://www.rtf.be/sport/football/belgique/jupilerproleague/detail_courtrai-s-impose-contre-lokeren-waasland-beveren-et-malines-partagent?id=9676989
- 29) <http://www.985fm.ca/actualites/nouvelles/les-objets-saisis-a-l-aeroport-de-montreal-finance-849059.html>
- 30) <http://www.sudinfo.be/1902598/article/2017-08-06/un-jeune-brabancon-wallon-decede-dans-un-accident-en-alle-magne>
- 31) <http://www.footballclubdemarseille.fr/om-actualites/ligue-1/om-dijon-3-0-marseille-reussit-son-entree.html>
- 32) <http://www.nintendo-master.com/news/dragon-quest-xi-sortira-sur-switch-quand-le-moment-sera-venu>
- 33) <https://pxlbbq.com/dragon-quest-builders-2-annonce-on-ne-sait-ps4-switch/>
- 34) <http://www.parisfans.fr/autour-du-psg/bartomeu-neymar-club-a-a-cheikh-oligarque-288286.htm>
- 35) <http://www.footballclubdemarseille.fr/om-fil-info/om-les-tableaux-mercato-actualises-de-ce-samedi-0408.html>
- 36) <https://www.moniteurautomobile.be/actu-auto/sport-auto/alfa-romeo-maserati-formule-e.html>
- 37) <https://www.hrw.org/fr/news/2017/07/27/tunisie-une-etape-decisive-pour-protger-les-femmes-contre-la-violence>

en revanche

- 1) <http://www.bfmtv.com/sante/pourquoi-le-jus-de-pamplemousse-est-deconseille-en-cas-de-traitement-medicamenteux-1222874.html>
- 2) <http://www.caradisiac.com/toyota-prepare-une-electrique-a-recharge-ultra-rapide-161655.htm>
- 3) http://www.eurosport.fr/football/ligue-europa/2017-2018/avec-un-germain-en-feu-l-om-a-fait-le-break-contre-ostende-4-2_sto6269121/story.shtml
- 4) <http://www.europe1.fr/sport/mondiaux-de-natation-mehdy-metella-en-bronze-sur-100-m-3398696>
- 5) <http://www.lefigaro.fr/flash-eco/2017/07/27/97002-20170727FILWWW00316-lagardere-rentabilite-au-1s-en-progres.php>
- 6) <http://paperjam.lu/news/plus-delecteurs-moins-de-participation>
- 7) <http://www.rfi.fr/asic-pacifique/20170728-liste-noire-coree-sud-prison-ex-secretaire-cabinet-park-kim-ki-choon>
- 8) http://www.liberation.fr/futurs/2017/07/27/stx-paris-sort-l-arme-de-nationalisation-massive_1586725
- 9) <http://tempsreel.nouvelobs.com/en-direct/a-chaud/40111-sante-quarante-spermatozoides-diminue-moitie.html>
- 10) http://www.lemonde.fr/football/article/2017/07/29/football-feminin-les-pays-bas-qualifies-en-demi-finales-le-quat-danemark-alle-magne-reporte_5166540_1616938.html#meter_toaster

- 11) http://www.lemonde.fr/les-decodeurs/article/2017/07/29/sept-questions-pas-si-betes-que-vous-vous-posez-sur-le-corps-humain_5166537_4355770.html
- 12) <http://www.lavoixdunord.fr/198436/article/2017-07-29/un-samedi-moins-noir-que-prevu-sur-les-routes-des-vacances>
- 13) <http://www.ouest-france.fr/sport/rugby/super-rugby-les-crusaders-en-finale-5162186>
- 14) <https://www.rts.ch/info/regions/valais/8807878-la-passerelle-suspendue-la-plus-longue-du-monde-inauguree-en-valais.html>
- 15) <https://www.francebleu.fr/infos/transports/en-mayenne-des-embouteillages-seulement-sur-les-aires-d-autoroutes-1501350562>
- 16) http://www.lemonde.fr/asia-pacifique/article/2017/07/29/la-secheresse-en-coree-du-nord-accentue-la-crise-alimentaire_5166441_3216.html
- 17) <http://www.lavoixdunord.fr/198455/article/2017-07-29/natation-en-superstar-l-americaain-dressel-se-couvre-d-ortois-reprises>
- 18) <http://sport24.lefigaro.fr/football/transferts/actualites/le-barca-pret-a-denoncer-le-psg-aupres-de-l-uefa-dans-l-affaire-neymar-870243>
- 19) <http://www.rtl.be/info/monde/international/tentative-de-coup-d-etat-en-turquie-ouverture-du-plus-grand-proces-d-e-putschistes-presumes-dont-fethullah-gulen-940729.aspx>
- 20) <http://www.rtl.fr/actu/societe-faits-divers/meteo-france-place-14-departements-en-vigilance-orange-aux-orages-7789551538>
- 21) <http://www.bfmtv.com/planete/selon-une-etude-dormir-longtemps-favorise-les-cauchemars-1227867.html>
- 22) <http://www.bfmtv.com/international/mousson-en-inde-21-personnes-mortes-foudroyees-1227825.html>
- 23) <http://www.leparisien.fr/transports/pagaille-a-montparnasse-tout-savoir-sur-le-remboursement-en-cas-de-retard-31-07-2017-7167432.php>
- 24) http://www.liberation.fr/france/2017/07/31/l-agresseur-d-une-deputee-en-marche-condamne-a-un-mois-d-emprisonnement-ferme_1587406
- 25) <http://www.p-nintendo.com/news/rime-n-a-toujours-pas-de-date-mais-en-revanche-il-a-un-beau-collector-248341>
- 26) http://www.huffingtonpost.fr/docteur-f/pourquoi-il-est-parfois-si-difficile-de-demonter-les-arguments-c_a_23060279/
- 27) <http://www.lci.fr/societe/meteo-france-orages-l-alerte-orange-levee-pour-l-ensemble-des-departements-2060792.html>
- 28) <http://www.bfmtv.com/mediaplayer/video/info-bfmtv-il-n-y-aura-pas-de-statut-pour-brigitte-macron-mais-une-charte-de-la-transparence-970413.html>
- 29) <http://www.foot01.com/equipe/ol/ol-des-fans-de-strasbourg-agresses-lyon-mene-l-enquete,255747>
- 30) <https://www.presse-citron.net/google-discours-sexiste-a-legard-femmes-monde-de-technologie/>
- 31) <http://www.lci.fr/societe/comment-sont-fabriques-les-chateaux-gonflables-2060864.html>

- 32) https://www.challenges.fr/media/disney-lache-netflix-pour-lancer-sa-propre-plateforme-de-streaming_492301
- 33) <http://bfmbusiness.bfmtv.com/entreprise/ce-qu-on-economiserait-en-faisant-voler-les-avions-sans-pilote-1233124.html>
- 34) <http://o.nouvelobs.com/voyage/20170809.OBS3182/et-si-on-partait-en-vacances-a-l-hotel-de-dirty-dancing.html>
- 35) http://www.liberation.fr/futurs/2017/08/09/ufs-contamines-les-ovoproducts-dans-la-tourmente_1589072
- 36) <http://www.sudouest.fr/2017/08/10/le-vignoble-en-tuk-tuk-3684291-2780.php>
- 37) http://www.lemonde.fr/societe/article/2017/08/09/accident-de-puisseguin-la-fabrication-des-autocars-mise-en-cause_5170438_3224.html
- 38) <http://www.sudouest.fr/2017/08/10/erosion-du-littoral-les-solutions-preconisees-3683874-4160.php>
- 39) <http://www.lefigaro.fr/actualite-france/2017/08/09/01016-20170809ARTFIG00184-carte-des-antipodes-qu-y-a-t-il-sous-vos-pieds.php>

(たしろ まさゆき / 文芸言語専攻 5 年)